

## バイオビジネス環境学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 稲泉博己・泉田洋一・宮浦理恵・大久保研治

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

修士論文研究作成に必要なスキルを習得するために、時期に沿って以下の内容について取り組む。論文執筆のため技法、研究成果のとりまとめ方法、学会報告を目指した研究成果の公表および特別総合演習報告会等でのプレゼンテーション技法の向上等を習得する。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

学際的研究	フィールドサーベイ	持続可能性	農業・農村開発
農業教育	農業技術	アグロエコロジー	資源管理

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	課題の設定	科目の目的と演習の実施法について	毎回の授業で、各自の研究に基づき、必要な情報や収集したデータを持ちより、演習の材料とする。また、研究の進捗状況を報告するための準備をしておく。発表の順番については、授業のはじめにスケジュールを組む。各回、予習・復習それぞれ 1.5 時間程度。
2	研究成果中間報告	これまでの研究の中間報告①	
3		これまでの研究の中間報告②	
4	課題の再確認	課題の整理①	
5		課題の整理②	
6	論文執筆技法	論文構成の決定	
7		論文の執筆法	
8		文章技法	
9	データ解析法	データ解析法演習①	
10		データ解析法演習②	
11	発表技法	発表スキル向上のポイント	
12		発表要旨の作成法	
13		パワーポイント作成技法	
14		口頭発表演習 1	
15	総括	口頭発表演習 2	

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業で提示する

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業で提示する

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

毎回の授業での報告 (50%)、レポート (50%)

### ◆オフィスアワー

金曜 2 限

### ◆その他受講上の注意事項

授業は、受講者の言語能力に応じて日本語と英語のバイリンガルで行う。